

農政連芦北総支部活動報告

地元の海岸をキレイに 海岸清掃ボランティア

芦北町の御立岬海水浴場（70人）と鶴ヶ浜海水浴場（140人）で7月12日、「くまもと・みんなの川と海づくりデー」の海岸清掃が実施され、管内企業（漁協・建設組合・自動車整備組合など）や芦北町PTA連合会など約210人が参加しました。

この取り組みは、キレイな川や海を健全な姿で次世代に継承していこうと「くまもと・みんなの川と海づくり県民運動」の一環として県が提唱しているもの。芦北町からの呼びかけで、昨年に続きJAあしきた職員約30人もボランティアとして参加しました。

清掃活動は1時間程度行われ、参加したJA職員は「ペットボトルやタバコなどのゴミは少なかったが、先日の台風の影響で木片などの漂着物が特に多かった。海水浴シーズンなので、たくさんの人に芦北のキレイな海をPRしたい」と話しました。



▲分別をしながら清掃活動に取り組む参加者たち

もち米の苗植え付け 田浦小学校田植え

芦北町立田浦小学校5年生44人が6月12日、食農教育の一環として田植えを行った。同校は毎年、JAあしきた青壮年部田浦支部や児童保護者の協力のもと田植えや稲刈りを行っており、収穫した米の販売までを体験しています。

当日は、同青壮年部部員の指導のもと、児童らは田んぼの泥に足を取られつつ、保護者と一緒に泥まみれになりながら、目印のヒモに沿ってまっすぐにもち米の苗を植えました。8アールの田んぼに、およそ1時間半かけて植えた苗は、今後青壮年部員が中心となり栽培管理を行っていきます。

青壮年部の市川大地さん（36）は、「今後も田んぼに来て、稲の成長を観察して下さい」と呼び掛けました。10月には収穫体験を予定しています。



▲田植の説明をする青壮年部員



▲楽しそうに苗を植える児童（芦北町で）